

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 一回線送電線のため一回線設備容量を記載
 ※2 一回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 一回線送電線のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

平成30年12月26日 更新

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量	備考
							当該設備	上位系等考慮			
H 001	朝日小川線	154	1	76	76	熱容量	19	13	不可 #2	-	※1
H 002	新愛本黒部線	154	2	272	136	熱容量	80	13	不可 #2	-	
H 003	黒部江口線	154	2	272	206	熱容量	89	13	可	66	※2
H 004		154	2			熱容量	136	13			◇
H 005	東魚津支線	154	1	214	214	熱容量	214	13	不可 #2	-	※1
H 006	舟橋江口線	154	2	572	502	熱容量	338	13	可	70	※2
H 007		154	1			熱容量	15	6			◇
H 008	折立線	154	1	101	101	熱容量	83	6	不可 #2	-	※1
H 009	和田川連絡線	154	1	51	51	熱容量	6	6	不可 #2	-	※1
H 010	有峰幹線(山)	154	2	304	238	熱容量	63	13	可	66	※2
H 011	有峰幹線(里)	154	2	428	350	熱容量	46	13	可	78	※2
H 012	舟橋線	154	2	684	469	熱容量	13	13	可	215	※2
H 013	栃尾線	154	1	101	101	熱容量	75	46	不可 #2	-	※1
H 014	葛山線	154	1	123	123	熱容量	71	46	不可 #2	-	※1
H 015	中部連絡線	154	1	101	101	熱容量	101	46	不可 #2	-	※1
H 016	東町支線	154	2	246	123	熱容量	88	46	可	123	
H 017	見座線	154	2	246	183	熱容量	46	46	可	63	※2
H 018	牧線	154	2	308	238	熱容量	60	60	可	70	※2
H 019		154	1			熱容量	0	0			◇
H 020	神通第一線	154	2	246	123	熱容量	31	31	不可 #2	-	
H 021		154	2			熱容量	145	67			◇
H 022	有峰第一線	154	2	536	456	熱容量	67	67	可	80	※2
H 023	北笹津線	154	2	1,014	760	熱容量	760	135	可	250	※2
H 024	富南線	154	2	536	268	熱容量	268	103	不可 #2	-	
H 025	新富山北笹津線	154	2	1,030	751	熱容量	135	135	可	250	※2
H 026	富山線	154	2	890	668	熱容量	103	103	可	222	※2
H 027	火力富山線	154	2	760	608	熱容量	183	103	可	152	※2
H 028		154	1			熱容量	25	25			◇
H 029		154	2			熱容量	276	103			◇
H 030	火力塚原線	154	2	572	286	熱容量	241	6	不可 #2	-	
H 031		154	2			熱容量	180	6			◇
H 032	塚原線	154	2	536	463	熱容量	6	6	可	73	※2
H 033		154	1			熱容量	38	6			◇
H 034	塚原伏木線	154	2	1,014	507	熱容量	507	6	不可 #2	-	
H 035		154	1			熱容量	185	0			◇
H 036		154	1			熱容量	99	0			◇
H 037		154	1			熱容量	38	0			◇
H 038	新能登線	154	2	536	268	熱容量	268	0	不可 #2	-	
H 039	中能登新能登線	154	2	1,072	925	熱容量	608	0	可	147	※2
H 040	鳳至線	154	2	506	253	熱容量	5	0	可	250	
H 041	南福岡線	154	2	536	463	熱容量	463	190	可	73	※2
H 042		154	2			熱容量	25	25			◇
H 043	北金沢線	154	2	536	463	熱容量	363	190	可	73	※2
H 044	御所線	154	2	968	484	熱容量	484	484	可	250	※2
H 045	南金沢線	154	2	1,708	1,326	熱容量	984	561	可	250	※2
H 046	笠間線	154	2	1,014	811	熱容量	811	561	可	203	※2
H 047	新小松線(北金沢)	154	2	428	214	熱容量	214	214	不可 #2	-	
H 048		154	2			熱容量	105	105			◇
H 049	新小松線(新小松)	154	2	428	350	熱容量	350	350	可	78	※2
H 050	手取幹線	154	2	536	463	熱容量	96	96	可	73	※2
H 051	第二福井火力線	154	2	536	268	熱容量	268	268	不可 #2	-	
H 052	福井火力線	154	2	856	699	熱容量	398	398	可	157	※2
H 053	北庄線	154	2	856	699	熱容量	536	536	可	157	※2
H 054	松岡連絡線	154	2	536	463	熱容量	218	218	可	73	※2
H 055	九頭竜幹線	154	2	428	214	熱容量	48	48	不可 #2	-	
H 056		154	2			熱容量	99	48			◇
H 057	福井幹線	154	2	272	136	熱容量	136	136	不可 #2	-	

